

Mac 敬語入力アシスタント

MVP実装仕様書

Claude Code にそのまま渡す開発指示 | 2026年10月15日 | 個人利用・Mac版のみ

目的：メール、Slack、Chatwork等の入力欄で、①話した内容を丁寧な顧客向け文章にして挿入、②選択した文章を丁寧な敬語に書き換えて置換する。コピー＆ペーストの往復をなくす。まず自分のMacで確実に動く最小版を作る。

1. MVPの完成条件

- ・常駐メニューバーアプリとして動作し、通常のテキスト入力欄で利用できる。
- ・テキストが選択されていない状態でショートカットを押すと録音開始。もう一度押すと録音終了 → 文字起こし → 敬語変換 → カーソル位置に自動挿入する。
- ・テキストを選択してショートカットを1回押すと、選択部分だけを敬語変換してその場で置換する。
- ・エラー時は元の文章を残す。無断送信しない。

2. 操作フロー・状態遷移

状態 / 操作	期待動作
選択テキストなし + キー1回	録音開始。メニューバーに録音中を表示
録音中 + キー1回	録音停止 → 文字起こし → 敬語化 → 自動貼り付け
選択テキストあり + キー1回	選択テキスト取得 → 敬語化 → 選択箇所を置換
処理中の操作	二重起動させず無視。処理状態を表示
Escまたはメニューからキャンセル	録音を破棄。編集内容は変更しない

3. ホットキーに関する重要な実装条件

第一希望は Fn / Globe キーの単独押下。ただし macOS / キーボード / 入力切替設定により、単独Fnのグローバル検知は不安定、または他機能に奪われる場合がある。Fn固定で開発を止めない。
起動時に検知可否を確認し、動かなければ初期代替キー Control + Option + Space
を採用する。設定画面で変更可能にする。macOS側の「Fn/地球儀キーの動作」と競合する場合は案内する。

4. 技術構成（MVP向け）

- ・macOSネイティブ：Swift + SwiftUI（メニューバーアプリ、MenuBarExtra / AppKit）。Windows対応は今回対象外。

- ・ホットキー：macOSのイベント監視（必要に応じCGEventTapでflagsChanged検証）。代替ショートカットは安定したグローバルホットキー機構で実装。
- ・録音：AVFoundation。マイク権限を要求し、音声は一時ファイルに保存して処理後削除。
- ・文字起こし：OpenAI音声文字起こしAPI等、実装容易なAPIを採用。APIキーはKeychainに保存。
- ・敬語化：LLM APIを呼び出し、固定の変換プロンプトを利用。モデル名は設定値として切替可能にする。
- ・選択取得：Accessibility APIの選択文字列取得を優先し、非対応アプリはCmd+Cをフォールバックとして試す。
- ・挿入・置換：対象アプリを前面に保ったままペースト操作。必要な場合、クリップボードを一時利用し、可能な限り元の内容を復元。

5. 敬語変換プロンプト（固定）

「あなたは日本企業の顧客対応文面の編集者です。入力文の意味、事実、依頼内容、日付、固有名詞を保持し、自然で丁寧なビジネス敬語に整えてください。冗長・過剰な敬語は避け、読みやすく簡潔にしてください。入力になり約束・日程・事実・謝罪を創作しないでください。説明、引用符、前置きは付けず、完成した本文だけを返してください。」

音声入力の際は先に口癖・言い淀み・明白な誤認識を修正する。ただし不確かな固有名詞や日時は捏造せず、元の表現を維持する。

6. 権限・プライバシー・安全性

- ・初回起動で「マイク」「アクセシビリティ」、実装方式に応じて「入力監視」権限を案内。macOSの必要な権限以外を要求しない。
- ・API送信対象は、音声入力時の録音データと選択テキストのみ。選択していない画面全体、メール全文、パスワード欄の内容は収集しない。
- ・通信はHTTPS。APIキーをソースコードや設定平文に直書きしない。ログに本文・音声・APIキーを残さない。
- ・通信失敗・選択取得不可・ペースト不可では安全に終了し、元の選択文章を消さない。自動で送信ボタンは押さない。

7. 優先実装順序（Claude Codeへの指示）

- ・Phase 1：SwiftUIメニューバー常駐、代替キー登録、選択文取得 → LLM敬語変換 → 選択置換を動かす。
- ・Phase 2：録音開始/終了、音声文字起こし、敬語変換、カーソル位置に自動挿入を動かす。
- ・Phase 3：Fn単独押下検知を試作。検知できた場合のみ有効化し、失敗時は代替キーに自動退避。
- ・Phase 4：初回権限案内、APIキー設定、簡単なエラー通知、クリップボード復元を整備。

8. テストケース / 受け入れ判定

- ・Appleメモ / ブラウザのテキスト欄 / Slack / Chatworkなど、実際に使う入力欄で確認。アプリによって選択取得・貼り付け対応が異なる場合は対象別の制約を明記する。
- ・例：音声「予定調整ありがとうございます、来週どうですか？」→「日程をご調整いただきありがとうございます。来週のご都合はいかがでしょうか。」相当の自然な敬語が挿入される。

- ・例：選択文「明日までに送って」→「明日までにお送りいただけますと幸いです。」相当の敬語に選択部分だけが置換される。
- ・録音の二重開始、APIタイムアウト、空文字、ネット断、権限拒否、パスワード入力欄を試す。失敗時に意図しない消去や送信がない。

9. 今回は作らない機能

Windows版 / SaaS化 / アカウント登録 / 課金 / チーム共有 / 過去ログ保存 / 文体プリセット複数 / 自動返信送信 / 顧客データ連携。

10. Claude Codeに対する最終指示

「この仕様に従い、まず手元のMacで実際に起動するMVPを実装してください。最初にSwiftプロジェクトを作成し、ビルドと起動方法、macOSの権限設定、APIキー設定をREADMEに記載してください。実装不能なmacOS制約は隠さず明示し、Fnキー対応にこだわって動作を遅らせず代替キーで完成させてください。動くソースコードを優先し、ダミーボタンやモックだけで完了としないでください。」